



WHA GROUP NEWS

WHAグループニュース <http://www.wha-group.com>

vol.41

WHAグループ、サミティベート病院とデジタル・ヘルスケアに関するMOUを締結

WHAグループが立ち上げたヘルスケアアプリ「WHAbit」、サミティベート病院とのパートナーシップにより、社員と顧客のための健康サービスの世界を切り開きます



WHAグループが立ち上げたヘルスケアアプリ「WHAbit」、サミティベート病院とのパートナーシップにより、社員と顧客のための健康サービスの世界を切り開きます

WHAコーポレーション社とサミティベート病院は、デジタル・ヘルスケアを推進・発展させるた

め、覚書(MOU)を締結したことを発表しました。目的は、新しいデジタルアプリケーション「WHAbit」とサミティベート病院がパーソナル・プラットフォームを通じてWHA工業団地、物流センターオフィスビルすべての従業員と顧客のヘルスケア サービスやソリューションへのアクセスを強化することにあります。

MOU合意により、両社はオンラインヘルスケアソリューションとオフラインで接続するサービスを最も効果的に提供するために必要なエンドツーエンドのワークフローとプロセスの調査・検討が可能になります。これには遠隔医療、健康診断、非感染性疾患(NCD)クリニック、スマートクリニック、薬局、データ分析、その他の関連サービスが含まれます。WHAグループは、新たに立ち

上げるデジタルヘルスケアアプリケーション「WHAbit」に提供するリソースやインフラを特定し、もなく本格的稼働します。また、サミティベート病院がパーソナル・プラットフォームを通じてWHA工業団地、物流センターオフィスビルすべての従業員と顧客のヘルスケア サービスやソリューションへのアクセスを強化することを目指しています。

MOUを締結

サミティベート病院は、サミティベート病院のネットワークから医療従事者へのアクセスを含む医療サービスを提供し、WHAbitアプリケーションを通じてデジタルヘルスケアソリューションとサービスの提供が可能になります。また、病院の施設やサービスを提供し、WHAbitユーザーがオンラインサービスだけでなく、補完的な情報をすべて入手できるようにし

ます。さらに、サミティベート病院のソリューションとサービスをWHAbitアプリケーションに接続するためのリソースと基本インフラと共有します。

調印式では、サミティベート病院院長兼BNHグループCEOのCharat Panthuraamhorn博士が、次のように述べました。「このMOUは、産業部門と医療部門の革新的なパートナーシップを象徴するものです。完全統合された物流と産業施設のリーダーであるWHAグループと提携できることを誇りに思います。最先端技術を持つWHAグループとサミティベート病院のコラボレーションにより、より多くの人々に健康とウェルネスを提供することが可能となり、ヘルスケアの壁が取り除かれることを確信しています」

WHAグループ、マヒドン大学公衆衛生学部と産業界におけるウェルネスに関する学術協力でMOU締結



WHAコーポレーション社とマヒドン大学公衆衛生学部は、「ウェルネスと産業」分野における連携強化のための覚書(MOU)に調印したことを共同で発表しました。主な目的は、産業界における健康と福祉に関する認識と理解を深めることで、公衆衛生の学位を目指す学生や産業発展に関心をもち、専門家のための学術コースや研修プログラムを開発することにあります。

WHAコーポレーション社社長兼グループCEOジャリオン・ジャルコンサクン氏とマヒドン大学公衆衛生学部准教授Sarawut Thepanon博士が、WHA幹部とマヒドン大学関係者ら同席する式典で、この協力を関係に署名しました。

MOU契約は5年間で有効で、タイ国内のWHAグループ工業団地と物流センターで働く従業員に安全で健全な労働環境を提供することを契約の一部として含みます。WHAグループでは、マヒドン大学公衆衛生学部の学生および大学院生を対象としたカリキュラムの一環として、研究イニシアチブとトレーニングコースの開発を支援します。両機関が知識や情報を交換することで、次世代の学生や従業員、将来の産業界のリーダーたちが、産業界の職場における健康問題を新しい視点で捉え、個人、企業、社会、国に利益をもたらす問題解決と解決策を提供するスキルを身につけることができ

るようになります。マヒドン大学公衆衛生学部とWHAグループとの協力は、両機関が知識や情報を交換することで、次世代の学生や従業員、将来の産業界のリーダーたちが、産業界の職場における健康問題を新しい視点で捉え、個人、企業、社会、国に利益をもたらす問題解決と解決策を提供するスキルを身につけることができるようになります。

MOUを締結

このMOUは私たちの学部が産業界と直接協力する貴重な機会であり、素晴らしいプロジェクトのパートナーとしてWHAグループを迎えることができたことを誇りに思っています。WHAグループのサポート、経験、洞察力は新しい側面を持つカリキュラムとなり学習、トレーニングプログラム

の設計、開発に役立つでしょう。この協力関係により学生たちはタイの東部経済回廊(EEC)にある地元企業や国際企業を見学し、産業界における労働環境の健康と福祉の重要性を知る機会を得ることができます。学生たちは実体験から学び、持続可能な開発目標を達成するためにウェルネスと産業がどのように共存できるかを学びます」

また、WHAコーポレーション社社長兼グループCEOのジャリオン・ジャルコンサクン氏は「教育現場と産業界の新しい提携をうれしく思います。マヒドン大学公衆衛生学部とのMOUは我々の産業界に新しい風を吹き込みます。WHAグループでは物流センターや工業団地に健全な労働環境を提供することを目指しています。従ってこの提携は我々のコーポレート・ミッションと合致します。健康と職場のウェルネスを自覚し新しい分野の学問が新しいビジネス、エネルギー、産業分野におけるサステイナブルな政策を学問を生み出し経済を活性化していくことを願っています」と述べています。

また、WHAコーポレーション社社長兼グループCEOのジャリオン・ジャルコンサクン氏は「教育現場と産業界の新しい提携をうれしく思います。マヒドン大学公衆衛生学部とのMOUは我々の産業界に新しい風を吹き込みます。WHAグループでは物流センターや工業団地に健全な労働環境を提供することを目指しています。従ってこの提携は我々のコーポレート・ミッションと合致します。健康と職場のウェルネスを自覚し新しい分野の学問が新しいビジネス、エネルギー、産業分野におけるサステイナブルな政策を学問を生み出し経済を活性化していくことを願っています」と述べています。

LINAK APAC社、用地拡張のためのWHAイースタン・シーボード工業団地2の土地購入契約を締結



デンマークの電動アクチュエータソリューションのマーケットリーダーであるLINAK APAC社は、WHAイースタン・シーボード工業団地2の用地31ライの土地購入契約に調印しました。同社は既存事業の拡大と生産性の向上を図るとともに、同地域の顧客へのサービス向上と市場シェアの拡大を目指しています。

EECCエリアでの製造拠点設立の需要に応えるWHAラヨーン36工業団地



タイの東部経済回廊(EEC)に位置するWHAラヨーン36工業団地は、流通・工業団地開発会社であるWHAグループの最新工業団地で、次世代自動車、ロボット、航空、電子機器、物流等の様々な産業を支援します。また、現在5000㎡規模の賃貸工場も用意されており、同工業団地では、世界標準スマート設備とインフラ、サービスなど優れた作業環境を24時間体制で提供致します。企業の皆様は工業用地を取得した後に独自の工場を設計・建設することが可能です。

WHAラヨーン36は総開発面積1281ライ(506エーカー)205ヘクタール)でラヨーンハイウェイ36号線と3375号線に近接し、マプタプット深海港から25km、レムチャパン深海港から31km、ウタパオ空港から23kmと戦略的なロケーションに開発されています。団地内道路は幅25~40Mの鉄筋コンクリート舗装、安定した電力供給の為の地方

電力局(PEA)による22KV/115KVの送電線、また光ファイバーによる通信ネットワークも整備されており、企業が求めるインフラの需要を満たしています。WHAグループの「スマートエコ工業団地」というコンセプトに基づき、WHAラヨーン36工業団地は、通信、モビリティ、セキュ

半期までに、すべてのWHA工業団地の従業員、顧客、企業がWHAbitを利用できるようにになり、医師とヴァーチャルに相談し、迅速な診断、治療、投薬が受けられるようになります。WHAbitアプリは、幸福な職場と健康的な生活のために、利用者の健康に寄り添う完璧なデジタルツールになることが期待されています。

ウェルネスツーリズム

ここ数年の飛躍的な技術開発と新型コロナウイルスの大流行により、健康やウェルビーイングを主な関心事とする消費者の行動やライフスタイルに変化が見られます。グローバルウェルネスインスティテュート(GWI)の報告によると、世界のウェルネスツーリズム市場は2020年で4・4兆ドル、2025年には7・0兆ドルに成長すると予想されています。



WHA コーポレーション株式会社
会長兼グループ CEO
ジャリーポーン・ジャルコンサクン

2021年末 NielsenIQ は、消費者の行動や意識に大きな変化と影響を与えた主な要因として以下の7点を挙げています。

- (1) 急速なテクノロジーの導入。消費者のスマートウォッチや遠隔医療などのデジタルテクノロジーを日常的に利用する機会の増加
- (2) ジェネレーションシフト。ウェルビーイング、サステナビリティ、エコライフといった概念が、ミレニアル世代やZ世代の

WHAグループ、2022年以降、新たな高みを目指すデジタルイノベーションを推進

産業界は今デジタル変革の途上にあります。企業は付加価値の高い、成長を刺激する新しいビジネスモデルを試行錯誤しています。コロナ禍でデジタルイノベーションが加速されデジタル化が革新的で柔軟なソリューションにつながることを我々は目の当たりにしています。生産性の向上、効率化、コスト削減等より良いビジネス環境の構築のためにますます多くのデジタル技術が導入されています。

WHAグループではデジタルイノベーションを優先し、最新技術の活用により顧客の効率化だけでなく顧客がデジタル化された環境を利用してワークフローを効率化し全体の運用コストを削減して生産性を向上させることを可能とします。

ビジネスの成長のためのデジタル・ソリューション

WHAグループはこれまで長年にわたりデジタル技術への最先端投資により産業界の水準を高めてきました。ビッグデータ、クラウドコンピューティン



グ、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、サイバーセキュリティ、ブロックチェーンを利用して、長期的な成長を確保し、より質の高いサービス、俊敏性の向上、戦略的価値の向上を実現し、社員、サプライヤー、顧客、コミュニティ、その他ステークホルダーに利益をもたらすことを目指しています。

2021年にはさまざまなビジネス拠点で33のプロジェクトを立ち上げスマートテクノロジーとモノのインターネットのオペレーションを強化しました。近い将来倉庫や工場にはロボット、自動倉庫(AS/RS)、無人搬送車(AGV)、スマート倉庫管理システムなど、最先端のモノのインターネットが導入されるでしょう。

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAグループは、長年にわたり貴重なデータを蓄積し、それを適時利用して風を切り抜け、困難から立ち直っています。デジタル対応力と最先端技術の採用は投資に反映され、国の社会経済状況(SES)を変革し、タイランド4・0政策を推進する強い影響を与えるでしょう。

WHAグループはWHA工業団地内外の顧客に太陽光発電設置を実施するサービス プロバイダーであり、国内外の多くの企業から信頼を得ています。プロフェッショナルな知識、ユートイリテイサービスや再生可能エネルギーソリューションの提供における豊富な経験実績、新しい技術やイノベーションを採用する能力によって、WHAUPはビジネス拡大を確実なものにして

2021年にはさまざまなビジネス拠点で33のプロジェクトを立ち上げスマートテクノロジーとモノのインターネットのオペレーションを強化しました。近い将来倉庫や工場にはロボット、自動倉庫(AS/RS)、無人搬送車(AGV)、スマート倉庫管理システムなど、最先端のモノのインターネットが導入されるでしょう。

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

WHAのオペレーションの中核となるのが会社のオペレーションや特定の場所を統合的に可視化するユニファイド・オペレーション・センター(UOC)です。タイやベトナム各地で実施されています。パンナットラッド通り沿いのグループ本社、WHAタワーにある中央司令室はWHA工業団地や工業施設に分散する電力制御室と連携し、スマートセンサー、ドローン、閉鎖回路テレビ(CCTV)、観測プラットフォームなどの高度なシステムにより

め、新しいアプローチが可能となっている。

(6) 農業技術の進歩。現代の農業技術は、生産性を高めるだけでなく、高品質で安全かつ栄養価の高い新製品の開発にも役立っている。

(7) 政策、法律、ガバナンス。多くの国で企業が消費者に安全な製品やサービスを提供するため、政策、規則、措置、法的制裁を定めている。

タイでは、東部経済回廊(EEC)をはじめとするさまざまなプロジェクトを通じて、ウェルネスツーリズム支援に力を入れていきます。このプロジェクトは、医療機器産業や遠隔医療の発展を通して、タイを地域の医療ハブとする大きな役割を果たしました。また民間部門では、世界有数のウェルネス・リゾート チバソムや、現代医療技術とホリスティック・ウェルネスを融合したヘルス・リトリートセンター RAKXana など、健康志向の高い観光客を魅了する観光地やヘルス&ウェルネスセンターなどを開発することでウェルネスツーリズムを支援しています。

タイは以前から地産の薬草やスパ、美しい文化を求めるウェルネス思考の高い人々を惹きつけてきましたが、ウェルネスツーリズムをさらに向上させるための新たな手法を早急に見出す必要があります。例えば、現代医療技術の研究ネットワークの構築、タイ伝統医学の改善、薬草の品質向上などがあげられます。このような改善はタイをウェルネスツーリズムの中心地とし国際的に際立った存在とすることに貢献し、健康志向の観光客を呼び込むだけでなくポストコロナのタイ経済を回復させる原動力ともなるでしょう。

さらにUOCは上下水道処理場の調査も行っており効率的なデータ収集と運用を可能にしています。またWHAチオンブリ工業団地内のチオンブリ・クリーンエネルギー発電所と連携し産業廃棄物をエネルギーに変換しています。

デジタル技術はデータ分析を可能とし時間の無駄なく情報に基づいた意思決定を行うことを可能とします。また、あらゆる業務の効率を高め運用コストを削減し、作業現場でのヒューマンエラーを軽減します。

WHAコーポレーション社長兼グループCEO ジャリーポーン・ジャルコンサクン氏は、「デジタルイノベーションにより高いレベルのオペレーション・エクセレンスとビジネスバリューを実現しています。この地域の産業界を代表する事業主として、私たちはデジタルイノベーションの3つの目標を掲げています。パフォーマンスとレジリエンスの向上に努めること、より良

WHAユーティリティ&パワー社(WHAUP)は東南アジアで最高品質水準のティア4基準データセンターのSUPER N A P (タイ)と地上設置型太陽光発電システム設置契約を2022年第1四半期に締結したことを発表しました。設置総面積は1万平方メートル、投資額は約3000万バツです。地球温暖化防止、温室効果ガス削減を目指すWHAUPの企業方針に基づきSUPER N A P (タイ)社とその顧客は同システムを導入することにより、システムの寿命期間を通じて電力コストを大幅に削減し、1万8250トン相当のCO2排出量の削減が可能となります。

タイおよびASEAN地域の最先端ティア4基準データセンターとなるSUPER N A P (タイ)社ではあらゆるネットワーク事業者と無制限に接続できるマルチタレント機能を備えています。同システムの設置場所は経済東部回廊(EEC)に位置するSUPER N A P (Thailand)社敷地内1万平方メートルに及びます。バンコクの洪水地帯からは外れた場所、タイ国内を結ぶ国際ネットワーク網のランディング・ステーションに近接しています。

「SUPER N A P (タイ)は、ASEAN地域で最先端の技術を持つティア4認定のデータセンターで、コロケーションおよびクラウドサービスプロバイダーです。パフォーマンス、可用性、災害リスクの軽減を保証する専用データセンターとしてアジア太平洋地域の需要に答えています。企業や顧客のクラウド、AI、IoT、BIGデータ使用を支えることで、地域のデータとアプリケーションの成長を促します。SUPER N A P (タイ)は、東南アジアのどのデータセンターよりも高いサービスを提供し、アジア市場を牽引しています。このような素晴らしい企業を顧客に持つことで、WHAUPの太陽光発電システムの標準サービスプロバイダーとしての地位が強化されるのです」とWHAUP 元CEOのニボン博士は述べています。

SUPER N A P (タイ)は再生可能エネルギーを導入する最初のデータセンターとなるこ

とで地域社会のグリーン化、デジタル化をつくるインフラ事業に貢献し国家戦略である温室効果ガス削減と顧客の二酸化炭素排出量を削減します。

SUPER N A P (タイ)CEOのSupita Bottse氏は、「SUPER N A P (タイ)は、キャビネットあたりの電力容量が33KWで100%稼働を保証しており、タイ国内のどのデータセンターよりも電力使用効率(PUE)が低く、すでに最もサステイナブルなデータセンターとなっています。当社のサステイナビリティ目標に沿ってエネルギー消費をさらに削減するため自社の太陽光パネルなどを利用し施設内の電力調達に取り組みんでいます。太陽光発電システムの設置にあたりWHAUPを選出したのはエンジニアリングと安全に関する専門知識と太陽光発電システムの設置に関する確かな経験を評価したからです。私たちは、WHAUPのポテンシャルとプロフェッショナルな信頼を寄せています」と述べています。

本プロジェクトは4月に着工、2022年10月に稼働予定です。総発電量は377億2500万kWを見込んでいます。WHAUPは、10月の太陽光発電供給が開始されると同時に、このプロジェクトから収入を得ることができるようになります。これにより、同社は太陽光発電の累積契約量は前年の92メガワットから目標とする150メガワットに達する見込みです。

WHAUPはWHA工業団地内外の顧客に太陽光発電設置を実施するサービス プロバイダーであり、国内外の多くの企業から信頼を得ています。プロフェッショナルな知識、ユートイリテイサービスや再生可能エネルギーソリューションの提供における豊富な経験実績、新しい技術やイノベーションを採用する能力によって、WHAUPはビジネス拡大を確実なものにして

WHAUP、SUPER N A P (タイ)と2022年第1四半期に地上設置型太陽光発電システム設置契約を締結





電子機器、ネットワーク機器、マルチメディア音響製品の大手メーカー Goertek Vina社は、WHAインダストリアルゾーン1の製造工場への投資を拡大するため、このほどゲアン省人民委員会から投資登録証明書（IRC）を取得しました。最初のIRC発行からわずか3カ月後の2021年1月21日に開始したGoertek Vina フェーズ1建設は完了となり、2022年6月より操業を開始し、およそ3万人の雇用を創出する予定です。

Goertekは、ゲアン工場への増資を1億ドルから5億ドルに引き上げ、ハイテク生産ラインを導入し、生産性の向上を可能にします。この直接投資（FDI）プロジェクトは、現時点でゲアン省の最大級の投資資本となります。Goertekゲアン工場は、省および地域に他の投資家を引き付け、成長、雇用創出、経済再編を促進するモデルとなる

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンのGoertek Vina、IRCを受領し、投資資金を増強



WHAインダストリアルゾーン・テホロップメント社産業・国際部門取締役デビッド・ナードン氏とアンチャリー部長も調印式にタイ国内からオンラインにて同席しました。

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンと台湾のHualiグループは、ゲアン省人民委員会本部で執り行われた調印式で土地賃借に関する覚書（MOU）に署名しました。調印式はゲアン省人民委員会 Le Ngoc Hoa 副主席とゲアン省の各部門トップらの立会いのもとで行われました。

Hualiグループは輸出用フットウェア製造・加工事業者です。総投資額は3800万ドルで、年間1300万足の生産を目標としています。建設計画では2022年8月に着工し、2023年6月に稼働する予定であり、約8000人の従業員を雇用します。

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアン Hualiグループと新規プロジェクトへの投資に関するMOUを締結

ベトナム）社顧客開発部シニア・マネージャー Nguyen Thi Ngoc氏がゲアン省の投資環境に関心を寄せる潜在投資家に向けてWHAインダストリアルゾーン1・ゲアンの国際基準のインフラ、優遇政策、投資インセンティブの概要を説明しました。



在インド・ベトナム大使館とベトナム・ホーチミン市のインド総領事館の協力のもと、ゲアン省（ベトナム）とハリヤナー州（インド）は2022年の投資と貿易についてのオンラインセミナーを開催しました。

会議ではWHAインダストリアル・マネージメント・サービス（ベトナム）社顧客開発部シニア・マネージャー Nguyen Thi Ngoc氏がゲアン省の投資環境に関心を寄せる潜在投資家に向けてWHAインダストリアルゾーン1・ゲアンの国際基準のインフラ、優遇政策、投資インセンティブの概要を説明しました。

WHAグループ、ベトナム・ゲアン省とインド・ハリヤナー州間の投資及び貿易誘致についてのオンラインセミナーに参加



韓国とベトナムの外交関係樹立30周年を記念して、政治、安全保障、経済、インフラ、保健衛生、科学技術、文化、教育などの分野で一連のイベントが開催されました。

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアン「ミーンティングウイズコリア2022」イベントに参加

社と物流センターをつなぐ役割を担っています。

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンの110kV送電線と変電所プロジェクトでは、ホアドンからジェンチャウまでを1回線が中継します。変電所は定格容量63MVA設計です。フェーズ1には、115/38.5/23kV・63MVA変圧器、2回線ブレイカー、コンパルトメント、DCLインストレーション、セグメント、110kVと22kVの運転ステーションが含まれ、22kVの中電圧エリアには7つの設備があります。

変電所は、遠隔操作変電所の基準に従って建設され、ゲアンPC遠隔操作センター、AI、NPCデータセンターと連携したSCADAシステムを備えています。

現在稼働中の110kV変電所は、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンのプロジェクトに参加する投資家に電力を供給します。すべての事業運営に安定した電力供給が可能で、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンでのさらなるプロジェクトや投資にとって有利な環境作りが実現します。



WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンは、国際標準の設備とサービスを提供したベトナム北中部の主要工業団地の1つとして、国内外の製造業に出展しました。

WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンにて、110kV送電線および変電所の開通式



投資家を魅了する世界最高水準のユーティリティとインフラを備えたWHAインダストリアルゾーン1・ゲアン

韓国外交部と在ベトナム韓国大使館が主催し、タインホア省人民委員会と共同で開催した「人材集約と経済回復のスピードアップ」をテーマとしたイベント「ミーンティングウイズコリア2022」にWHAグループは参加しました。

Park Noh・wan 駐ベトナム韓国大使は、今後30年の新たな発展の方向性を明らかにしました。ベトナムと韓国の両国は共に、各分野の具体的な計画を含む、新しい包括的な戦略的協力パートナーシップのビジョンと、二国間関係のさらなる発展のための方向性を確認しました。

新型コロナウイルスのパンデミック後、ベトナムへの投資が高まる中、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンでは、世界最高水準のユーティリティとインフラで投資家を迎える準備が整えています。



ナカノアパレルベトナムはこのほど、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンにて革新的な研究開発センターを備えた新しい生産工場の着工式を行いました。この工場では、世界の需要に対応した高品質の衣料品を製造し、同社の持続可能な開発目標に沿ったグリーンエネルギーコンセプトも導入します。



ナカノアパレルベトナム、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンで新工場の着工式を実施

総面積1850ヘクタールのWHAインダストリアルゾーン1・ゲアンは、ゲアン省中部のドンナム・ゲアン経済地区に位置します。2年の建設期間を経て、第1フェーズ498ヘクタールのうち143.5ヘクタールが完成。すでに日本、タイ、中国から投資家が集まっています。

WHA GROUP ニュースダイジェスト

WHA GROUP

WHAグループ、GIZTIX のWHAタワー入居を歓迎

WHAコーポレーション社長兼グループCEOジャリーボーン・ジャルコンサクン氏は、GIZTIX社CEOのSittisak Wongsomnuk氏にWHAタワー入居を祝して花束を贈呈しました。GIZTIX社は運送会社のマーケットプレイスを運営するスタートアップで、新しい時代のeロジスティクスサービスプロバイダーです。WHAタワーはバンナー7kmに位置し、空港、バンコクのビジネス中心地、メガ・バンナーといった商業施設などへのアクセスも良好な、最新設備を備えたランドマークで、GIZTIXは、ここを拠点に業務を強化し、増加傾向にある国内外の顧客に統合ソリューションを提供していきます。



WHAグループ、Veger社のWHAタワーへの入居を歓迎

WHAコーポレーション社長兼グループCEOジャリーボーン・ジャルコンサクン氏はこのほど、高品質デジタル製品メーカーであるVeger Electronics (タイ) 社のWHAタワー新オフィス(バンナー7キロ)を経営陣と共に訪問しました。この新しいビルは、最先端の技術を備え、かつ利便性の良い立地で、Veger Electronics社がタイおよび地域の顧客基盤を拡大し、事業の成長・拡大計画を加速することを可能にします。



WHAUP

WHAUP、SUPERNAP (タイ) と共同で太陽光発電プロジェクトを開始

WHAユーティリティ&パワー社元CEOのNippon Bundechanan氏(写真中央左)とSUPERNAP(タイ)CEOのSunita Bottse氏(写真中央)は共同でSUPERNAP(タイ)の1万平方メートル用地とする太陽光発電所プロジェクトの着工式を執り行いました。プロジェクトは東部経済回廊(ECC)に位置し、2022年10月に完成し商業運転を開始します。太陽光発電システムの導入により、SUPERNAP(タイ)は電力コストを削減し、最大18,250トンの二酸化炭素排出量削減に貢献します。



WHAUP-PTT-SERTIS-PEA 「ピア・ツー・ピア 電力取引」プレゼンテーション ウェビナーを共同開催

WHAユーティリティ & パワー社(WHAUP)、タイ石油公社(PTT)、セルティス株式会社、地方電力局(PEA)はこのほど、ブロックチェーン技術を用いたピア・ツー・ピア電力取引システム「Renewable Energy Exchange (RENEX)」プラットフォームを紹介するオンラインセミナーを共同開催しました。RENEXは、事業者間のエネルギー取引を効率的かつ安全に促進するものです。エネルギー規制委員会(ERC)サンドボックススキームの一環として、参加企業同士がPEAのグリッドネットワークを通じて太陽光発電電力を自由に取引できるようにします。



WHA ラヨン36工業団地 EECエリアの新しい工業団地 Available NOW!



EECとBOIの投資プログラムゾーン
総開発面積: 1,281ライ (205ヘクタール)

お問い合わせ
777 WHA TOWER, 23rd-25th Floor, Moo 13, Debaratna Road (Bangna-Trad) KM. 7, Bang Kaeo, Bang Phli, Samutprakarn 10540 Thailand
marketing@wha-group.com +66 (0) 2 719 9555



WWW.WHA-INDUSTRIALESTATE.COM

CSR

WHAグループ、持続可能な成長を実現する地域開発と環境保護を目指すWeCYCLEプロジェクトを実施

WHAグループでは循環型経済コンセプト実現に向け「Clean Water for Planet」イニシアティブでのホテアオイの活用、再生ペットボトルを使ったスクールバックやかご作りを行っています

WHAグループは、サステナビリティへの取り組みをさらに強化するため、WHAグループの人工湿地に群生するホテアオイとアップサイクルされたペットボトルを使って、WHA工業団地周辺の学校に配布するスクールバックを製作するWeCYCLEプロジェクトを立ち上げました。PTTグローバル化学公社(GC)とのパートナーシップにより、かごやノートパソコン用のバッグも製作しています。WeCYCLEプロジェクトは、子どもたちや地域の人々がプラスチックごみの分別、リサイクル、削減について学ぶ場としても役立っています。WeCYCLEプロジェクトでは、WHAグループの従業員や顧客に、ペットボトルをはじめ、食品の包装紙やレジ袋を含むすべてのプラスチック容器をYOUTURN集積所に廃棄するよう呼び掛けています。同プロジェクトは、好意的な反響を得ており、GCのプラスチック廃棄物管理プラットフォームで、多くのパートナー企業と協働し、プラスチック廃棄物の分別、リサイクル、削減のキャンペーンを行っています。YOUTURN集積所は、バンナーのWHAタワー本社と、その他8カ所のWHA拠点に設置されています。

- ESIE PLAZA 1
- ESIE PLAZA 2
- WHA PLAZA 3
- WHA CITY PARK
- ESIE OFFICE
- WHA ESIE 4 OFFICE
- WHA EIE OFFICE (MAP TA PHUT)
- WHA RIL OFFICE

アップサイクル工程は、WHAグループの人工湿地に豊富に生育しているホテアオイを採取し、ホテアオイの新鮮な茎を裂き、繊維状になるまで乾燥させます。そして、アップサイクルしたペットボトルから作られるポリエステル繊維と混ぜ合わせます。こうして作られる糸は丈夫で、ポリエステル生地に織り込まれ、頑丈なスクールバッグや美しいデザインのかご、実用的なノートパソコン用バッグなどさまざまな製品に使用されます。WHAグループCSRプログラム「Clean Water for Planet」のWeCYCLEではアップサイクルプロジェクトとして、使用済ペットボトルとWHA工業団地内の人工湿地から取れるホテアオイの繊維を使って、学生たちのスクールバックを作っています。



クリーン・ウォーター、クリーン・プラネット

2016年、WHAグループでは地域住民が貴重な天然資源の水の重要性に対する認識を高め、理解を深めるための「Clean Water for Planet」プロジェクトを立ち上げました。WHAグループは、運河の水質を改善するために、さまざまなコミュニティで排水管理・処理施設の建設・納入に成功しています。環境にやさしい人工湿地による廃水処理は、故プミポン・アユンヤデート国王による王室プロジェクトの一環として実施された廃水処理プロジェクトを採用したものです。WHAグループは、ラヨーン県ブルワックデーテン群行政機関に排水管理・処理施設を納入し、チャンタブリー県ノンクラ自治体の排水処理システム開発プロジェクトに参画しています。さらに、チュラロンコン大学と了解覚書(MoU)を締結し、排水管理および処理のエンジニアリングプロジェクトにおける知識共有と相互協力を行っています。工学部の学生たちは工業団地や近隣のコミュニティで、理論的な知識を実践的なスキルに転換する場を得ることができます。



WHAグループ循環型経済コンセプト

WHAグループでは、資源の有効活用の観点から使用済みの物や廃棄物をアップサイクルして付加価値を高める「循環型経済」の考え方を導入しています。例えばWHA工業団地内の排水池で集められたホテアオイの茎やWHAグループ従業員や顧客により廃棄されたペットボトルはスクールバック、ギフトボックス製作に利用されます。さらに、近隣コミュニティの人々はホテアオイ繊維の生産に参加する機会を得て、収益を上げるとともに、貴重な資源の有効活用と健全で持続可能なエコシステムに関する意識を高めることができます。WHAコーポレーション社長兼グループCEOのジャリーボーン・ジャルコンサクン氏は「WeCYCLEプロジェクトを成功へと導いた戦略的パートナーであるGCに感謝します。この取り組みが、人々の循環型経済コンセプトについての理解を深め、インスピレーションを与え、資源を有効活用できるよう期待しています。我々は、サステナビリティが企業文化の一部となるまで、循環型経済コンセプトのもと継続的に事業を運営することを目指します。WHAグループのコミュニティが、環境にやさしいだけでなく、我々を取り巻くコミュニティと社会を強固にし、グリーンイニシアチブを熱心にサポートしていくことを誇りに思っています」と述べています。WHAグループは責任あるコーポレートシチズンとして、より多くのグリーンプロジェクトに参画し、2022年11月14日から19日までタイで開催されるAPEC 2022の公式コミュニケーションパートナーとしての責務を担います。当社は、より良い地球の未来を次世代へ託すため、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を達成するためのタイの取り組みに全面的に協力していきます。

